

## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月12日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タカチホ  
 コード番号 8225 URL <http://www.kk-takachiho.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 知幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 渡辺 三千也 TEL 026-221-6677  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,956	0.5	△28	—	△41	—	△32	—
25年3月期第1四半期	2,942	17.5	△51	—	△62	—	△39	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △30百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △41百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△5.26	—
25年3月期第1四半期	△6.23	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	7,473	1,580	21.2	252.62
25年3月期	7,223	1,624	22.5	259.54

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 1,580百万円 25年3月期 1,624百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,600	3.2	180	53.9	120	59.3	60	89.0	9.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	7,275,000株	25年3月期	7,275,000株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,016,811株	25年3月期	1,016,811株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	6,258,189株	25年3月期1Q	6,258,671株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信[添付資料]P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融・経済政策等を背景に円高・株安は解消され、企業業績は改善されつつあります。その一方で、個人消費の上昇に対する期待感はあるものの、雇用・所得環境が十分な改善に至っていないこともあり、先行き不透明なまま推移しております。

レジャー業界におきましては、円安の影響を受けて一部の観光地で外国人観光客の増加もみられましたが、4月から5月下旬にかけての全国的な天候不順や、空梅雨の中、経験のないような大雨による広い範囲での災害や交通機関の乱れ等も相まって依然として厳しい市場環境が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、「改革へのチャレンジ」の年度スローガンに基づき、みやげ事業を中心に販路拡大策の実施や社内業務の改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,956百万円（前年同四半期比0.5%増）、営業損失は28百万円（前年同四半期は51百万円の営業損失）、経常損失は41百万円（前年同四半期は62百万円の経常損失）、四半期純損失は32百万円（前年同四半期は39百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

#### ①みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、当社及び当社子会社により地域の特色を生かした商品開発と当社開発のオリジナル商品群の提案による販路拡大を進めてまいりました。その結果、売上高は1,723百万円（前年同四半期比6.5%増）となり、営業利益は64百万円（前年同四半期比452.4%増）となりました。

#### ②みやげ小売事業

みやげ小売事業は、当社みやげ小売ブランド店として長野県小布施町に「きなり旬粋店」を平成25年4月にオープンし、みやげ小売の業容拡大を図ってまいりました。しかし、昨年4月に新東名高速道路清水PA内にオープンしました「富士旬粋店」の売上が減少し、その結果、売上高は447百万円（前年同四半期比7.8%減）となり、営業損失は32百万円（前年同四半期は8百万円の営業損失）となりました。

#### ③みやげ製造事業

みやげ製造事業は、当社や各地の当社子会社及び各観光地の取引先の地域性を生かしたオリジナル商品の開発と提案による積極的な生産活動に努めてまいりましたが、原料価格の高騰による商品規格の変更や販売方法の変更を行いました。従来製造部門で計上していた売上については、みやげ卸部門に移管し、より効率的な生産活動に努めてまいりましたが、受注が振るわず、営業損失は8百万円（前年同四半期は4百万円の営業利益）となりました。

#### ④温浴施設事業

温浴施設事業は、各種イベントの企画・実施等や接客・サービスのレベルアップに努め、各施設のリピーター客の増加に努めました。その結果、売上高は394百万円（前年同四半期比3.7%の増）となり、営業損失は19百万円（前年同期は53百万円の営業損失）となりました。

#### ⑤不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。これらの賃料収入は27百万円（前年同四半期比4.6%増）となり、営業利益は9百万円（前年同四半期比11.5%増）となりました。

#### ⑥アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、シーズンに合わせたユーザー参加型のイベントの企画・開催によりお客様ニーズの発掘と購買意欲を喚起してまいりました。その結果、売上高は208百万円（前年同四半期比1.7%減）となり、営業利益は14百万円（前年同四半期比15.6%減）となりました。

#### ⑦その他

その他は、長野市内においてギフト店等の運営が含まれ、催事・イベント等販売活動を積極的に推進してまいりました。その結果、売上高は154百万円（前年同四半期比1.7%減）となり、営業利益は10百万円（前年同四半期比1.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,866百万円となり、前連結会計年度末に比べ285百万円(11.0%)増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が99百万円、商品及び製品が103百万円、流動資産その他に含まれる繰延税金資産が41百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は4,607百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円(0.8%)減少いたしました。これは主に有形固定資産が17百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、7,473百万円となり、前連結会計年度末に比べ250百万円(3.5%)増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,762百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円(0.2%)減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が57百万円増加したものの、短期借入金が52百万円、未払法人税等が11百万円、それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は2,129百万円となり、前連結会計年度末に比べ299百万円(16.4%)増加いたしました。これは主に社債が100百万円、長期借入金が194百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、5,892百万円となり、前連結会計年度末に比べ293百万円(5.2%)増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,580百万円となり、前連結会計年度末に比べ43百万円(2.7%)減少いたしました。これは主に四半期純損失32百万円及びその他剰余金からの配当12百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は21.2%(前連結会計年度末は22.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月13日開示の平成25年3月期決算発表時と変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	917,465	936,907
受取手形及び売掛金	911,931	1,011,026
商品及び製品	577,882	681,508
原材料及び貯蔵品	76,312	80,086
その他	101,807	164,070
貸倒引当金	△4,379	△7,405
流動資産合計	2,581,019	2,866,194
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,397,432	1,405,185
土地	1,006,575	1,006,575
その他(純額)	392,120	366,451
有形固定資産合計	2,796,128	2,778,212
無形固定資産		
投資その他の資産	149,515	142,600
敷金及び保証金	1,037,609	1,036,556
その他	677,559	664,988
貸倒引当金	△18,677	△15,347
投資その他の資産合計	1,696,491	1,686,197
固定資産合計	4,642,135	4,607,009
資産合計	7,223,154	7,473,204
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	470,174	527,932
短期借入金	2,627,120	2,574,904
未払法人税等	33,534	22,476
賞与引当金	54,771	91,332
返品調整引当金	4,954	5,161
ポイント引当金	12,681	12,991
その他	565,411	527,857
流動負債合計	3,768,647	3,762,654
固定負債		
社債	100,000	200,000
長期借入金	1,249,336	1,443,883
役員退職慰労引当金	57,004	58,179
資産除去債務	321,430	326,182
その他	102,470	101,347
固定負債合計	1,830,241	2,129,592

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債合計	5,598,888	5,892,247
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	720,835	708,318
利益剰余金	101,361	68,439
自己株式	△199,825	△199,825
株主資本合計	1,622,370	1,576,932
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,895	4,024
その他の包括利益累計額合計	1,895	4,024
純資産合計	1,624,266	1,580,956
負債純資産合計	7,223,154	7,473,204

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,942,959	2,956,609
売上原価	2,220,414	2,234,876
売上総利益	722,544	721,732
販売費及び一般管理費	774,435	749,958
営業損失(△)	△51,891	△28,225
営業外収益		
受取利息	2,076	2,036
受取配当金	310	405
仕入割引	1,015	990
受取事務手数料	3,013	2,863
その他	2,894	2,267
営業外収益合計	9,310	8,563
営業外費用		
支払利息	19,252	18,214
その他	475	3,478
営業外費用合計	19,727	21,692
経常損失(△)	△62,308	△41,354
特別利益		
固定資産売却益	—	500
受取補償金	12,440	—
特別利益合計	12,440	500
特別損失		
固定資産除却損	—	813
特別損失合計	—	813
税金等調整前四半期純損失(△)	△49,867	△41,667
法人税、住民税及び事業税	16,142	20,345
法人税等調整額	△27,005	△29,118
法人税等合計	△10,862	△8,773
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△39,004	△32,894
四半期純損失(△)	△39,004	△32,894



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△39,004	△32,894
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,405	2,129
その他の包括利益合計	△2,405	2,129
四半期包括利益	△41,410	△30,765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△41,410	△30,765
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事 業	みやげ 製造事 業	温浴施 設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	1,617,498	485,509	63,552	380,717	26,513	211,751	2,785,543	157,415	2,942,959	—	2,942,959
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	58,899	—	90,295	—	6,000	—	155,194	106,127	261,321	△261,321	—
計	1,676,397	485,509	153,847	380,717	32,513	211,751	2,940,737	263,542	3,204,280	△261,321	2,942,959
セグメント 利益又は 損失(△)	11,696	△8,487	4,010	△53,321	8,153	16,620	△21,328	10,546	△10,782	△41,108	△51,891

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事 業	みやげ 製造事 業	温浴施 設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	1,723,108	447,879	—	394,877	27,731	208,225	2,801,822	154,787	2,956,609	—	2,956,609
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	59,313	—	126,868	—	6,000	—	192,182	105,624	297,806	△297,806	—
計	1,782,422	447,879	126,868	394,877	33,731	208,225	2,994,004	260,411	3,254,416	△297,806	2,956,609
セグメント 利益又は 損失(△)	64,609	△32,387	△8,425	△19,959	9,094	14,021	26,952	10,387	37,340	△65,566	△28,225

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。